

日比谷公園におけるSynecoculture™導入のお知らせ

ソニー銀行の社員が生物多様性に寄与する栽培法で管理

ソニー銀行株式会社（代表取締役社長：南 啓二／本社：東京都千代田区／以下ソニー銀行）は、都立日比谷公園（東京都千代田区／以下日比谷公園）において、Synecoculture（シネコカルチャー）の露地栽培法を活用した取り組みを株式会社SynecO（代表取締役社長：船橋 真俊／本社：東京都港区／以下SynecO）の協力のもとで開始しましたので、お知らせします。

Synecocultureは、多種多様な植物を混生・密生させ、豊かな生態系をつくり出し、生態系に備わる物質循環などの自己組織化機能を多面的に利用するもので、耕起・施肥・農薬を必要としない農法です。無耕起であることで、土壌炭素の蓄積を促進し、豊かな生態系をつくり出すことで生物多様性の増進につながる取り組みです。2015年のアフリカ プルキナファソにおける実証実験では、1年で人為的な砂漠化を逆転し、収益性の高い有用食物の生産を実現しています。また、都市部においては、都市緑化、環境教育、地域創生などへの活用も目指しています。

ソニー銀行では、環境に寄与するSynecocultureについてより多くのかたに知っていただくとともに、社員一人ひとりが生物多様性の価値や持続可能な社会への貢献を考える機会として、ソニー銀行の本社近くにある日比谷公園内のカラーリーフガーデンの花壇をお借りし、社員によるSynecocultureのノウハウを生かした緑地づくりを行ってまいります。ソニー銀行の社員は事前にSynecOによる勉強会・ワークショップを通じ、生物多様性や「拡張生態系(*)」について学び、日比谷公園でのSynecoculture導入の準備を行ってきました。

(*) 拡張生態系とは、人間活動が積極的に介入することで自然状態を超えて生物多様性を増進し、さまざまな生態系機能や生態系サービスを実現する生態系です。

ソニー銀行では日比谷公園、SynecOの協力のもと、同花壇の整備に引き続き取り組むとともに、今後も生物多様性の増進につながる活動を継続して支援していくことで、持続可能な社会への貢献を目指します。



ソニー銀行のSynecoculture実施場



ソニー銀行のSynecoculture実施場

SynecOについて

ソニーコンピュータサイエンス研究所の研究者でもある船橋真俊が科学的に定式化した有用植物の露地栽培法であるSynecocultureをはじめとする拡張生態系を用いたソリューションや生態系の評価・構築を支援するサービスの提供により、人間活動と自然環境が相互に活かしあう新たな関係の構築を目指すスタートアップです。ソニーグループ株式会社のコーポレートベンチャーキャピタルSony Innovation Fund: Environmentの第一号案件として2021年4月に設立されました。拡張生態系では、人間活動が積極的に介入することで生態系の全体最適を図り、自然状態を超えて生物多様性を増進します。

株式会社SynecO 船橋 真俊 代表取締役社長より

日本最初の洋風公園であり樹齢百年を越す植生に恵まれた日比谷公園における拡張生態系の実装は、生物多様性リテラシーを日常的に学ぶ場となるとともにグローバルな森林生態系の保全・増進に繋がることを期待します。

以上

ソニー銀行では、銀行事業を通じた価値創出および価値創出のための基盤強化を通じた、SDGs (持続可能な開発目標) の達成への貢献も目指しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

本取組みにより主に貢献できるSDGsの目標



ソニー銀行のサイト | 企業案内 <https://sonybank.net/> サービスサイト <https://moneykit.net/>

ソニー銀行株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第578号 加入協会:日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人 日本STO協会

お問い合わせ先

ソニー銀行株式会社 経営企画部 広報・サステナビリティ推進室: 田野畑・中井・篠原
〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目1番6号
Tel: 03-6832-5903 E-mail: press@sonybank.co.jp

ソニー銀行PR事務局 株式会社アンティル: 大森、大鋸谷、宮野
〒107-0052 東京都港区赤坂四丁目15番1号 赤坂ガーデンシティ 14階
Tel: 03-5572-6081 E-mail: sonybank@vectorinc.co.jp